

む こ の し ょ う

武庫庄

学校便り

12月号

尼崎市立武庫庄小学校



令和元年 11月29日

NO.10

自分の力をのばすために

校長 横山 智恵子



令和元年の人権研修は、車椅子バスケットボールチームに所属し現役選手である大内 秀之氏を講師として11月22日低学年と高学年の2部構成で実施しました。車椅子を巧みに動かしながら、3学年の児童一人一人を見つめながら話す姿に子ども達もどんどん引きこまれていきました。

まず、「僕は、足が動かないんだよ。」「かわいそうだと思う人？」から始まりました。

子ども達の反応は、かわいそうだと思うに迷うことなく挙手。質問されたら反応できる武庫庄の子ども達です。大内さんも、子ども達の反応を見て更に元気に動きながらお話をしてくださいました。

「僕は、足は動かない。けど、もしかしたら、君達よりも幸せかもしれないよ！」

この言葉に、子ども達にわかってほしい願いがありました。

講師の大内さんは、生後まもなく車椅子で生活していると話されました。車椅子だからできないではなく、車椅子を自分の足として生活できるよう今まで努力されてきたのです。本校にも、自分で車を運転し一人で来られました。競技用の車椅子と普段使う車椅子は違いますので、2台持参する必要があります。大型車を颯爽と運転される姿がありました。ご自分の説明をした後、子ども達から多くの質問がありました。

- ・お風呂の入り方
- ・服の着替え方
- ・寝方 等々

以上の質問にたいして、「みんなとかわらないんだけどなあ。」大内さんから小さな吹きが聞こえました。その場にいた私もどきっとしました。しかし、明るい声で、子ども達とかわらないことを丁寧にわかりやすく話してくれました。

新婚さんということで、個人的な質問もありました。とても、幸せそうな表情にみんなの心も嬉しくなってきました。次々と湧き上がる子ども達のどの質問に対しても、丁寧に時には実演もしながら説明をして下さいました。子ども達にとって、どれだけ伝わったかは個人差があると思います。けれども、昨日よりもよりよい自分になるために、それぞれの目標に向かって明るく努力していける学校生活になるよう全教職員で取り組んでいきます。

保護者の皆さまと共に、大切な子ども達の将来のために、今できることに全力で前進します。どうぞ、よろしく願いいたします。